信頼されるプロになる。

Niigata University of Pharmacy and Applied Life Sciences
新潟薬科大学

新潟薬科大学　高度薬剤師教育研究センター

2020年度　生涯研修認定制度　グループ研修

「グループ研修」は、新潟薬科大学新津キャンパス及び新潟駅前キャンパスを会場とし、医学的知識や技能の向上を目的としたセミナー形式の講演や実習等を行います。
なお、本研修受講者の方には、本学の生涯研修認定制度に基づき、「生涯研修認定単位（シール）」を90分の受講につき1単位発行いたします。

＜連絡事項＞
・**申込受付は7月10日（金）から**となり、**各研修プログラムごとに申込の最終締切日が異なります。ただし、定員に達し次第、申込受付を終了いたします**ので、ご了承ください。
申込受付終了後、参加の可否についてメールまたは郵送にてご連絡いたします。
・各研修の最少催行人数は5名といたします。
・新型コロナウイルスの感染拡大状況によっては、開催を中止または延期する場合がございます。
研修を開講しない場合は、当センターホームページ（http://www2.nupals.ac.jp/koudo/）「News&Topics」にてお知らせいたしますので、随時ホームページのご確認をお願いいたします。

新潟薬科大学　新潟駅前キャンパス会場の研修

＜会場住所＞　〒950-0087　新潟市中央区東大通1丁目4-1　マルタケビル4階
＜アクセス＞　JR新潟駅万代口より徒歩1分

新潟薬科大学　新潟駅前キャンパスを会場とした研修は、以下の9研修（薬局薬剤師のための感染制御、輸液の基本と応用、糖尿病治療の薬学的フォローアップ、がん患者さんの思いを知る・学ぶ、化学療法による副作用の種類と対策、白血病の分子標的治療、統合医療の実践、在宅医療と薬剤師、災害薬学になります。

■　①薬局薬剤師のための感染制御　（定員20名／全3回）※最終締切日：8月3日（月）

薬剤師の在宅業務が進む中、感染対策の知識は自分の身を守るためにも他の患者に伝搬させないためにも必要である。薬局内・在宅での感染対策ならびに感染に関する薬の知識を修得する他、ノロウイルスなどに対する感染対策の実習を行う。

＜研修責任者：新潟薬科大学薬学部　教授　継田　雅美＞　　開催時間：各回共通　19:00～20:30

	開催日	講義項目	講師
第1回	9月2日（水）	保険薬局薬剤師に必要な 感染対策の知識と実践 ～押さえておきたいポイント～	えちごメディカル 代表取締役専務 大久保　耕嗣　先生
第2回	9月30日（水）	感染症と薬 （抗菌薬・抗ウイルス薬・ ワクチン・消毒薬）	新潟薬科大学　薬学部 教授　継田　雅美
第3回	10月14日（水）	インフルエンザ・結核・ノロウイルスの 感染対策	

■　②輸液の基本と応用　（定員20名／全2回）※最終締切日：①8月5日（水）②9月7日（月）

本研修では、輸液に焦点を当て、その基本から選択、脱水の評価と体液量の評価、脱水の種類と輸液の選択、電解質異常とその治療について、模擬症例を交えて講義する。
※開催日①②のどちらか1回の受講となります。（開催日①②の研修内容は同一です）

＜研修責任者：新潟薬科大学薬学部　教授　小林　靖奈＞　　開催時間：各回共通　19:00～20:30

	開催日①	開催日②	講義項目	講師
第1回	9月9日（水）	10月7日（水）	輸液の基本と水・電解質輸液の 種類と成り立ち	新潟大学医学部 災害医療教育センター 和泉　邦彦　先生
第2回	9月16日（水）	10月29日（木）	輸液の選択と電解質異常による 疾患およびその治療	

■ ③糖尿病治療の薬学的フォローアップ （定員20名/全5回）※最終締切日：8月18日（火）

薬機法改正や診療報酬改定に示されるように、薬剤師の積極的な継続した薬学管理が求められている。特にSU薬やインスリン製剤は、低血糖を引き起こす可能性が高いことから、フォローアップには特別な知識と技能が必要となる。本研修では、食事や運動療法、合併症への配慮も含めて「糖尿病治療の薬学的フォローアップ」に必要な知識の整理とスキルアップを目指す。

※この研修では、専用テキストの購入をお勧めしております（1冊　4，180円＋税）。
購入については任意となりますが、研修は専用テキストを用いて進めてまいります。
テキスト購入を希望される方は、初回受講時に会場にてご購入ください。

＜研修責任者：新潟薬科大学薬学部　教授　朝倉　俊成、准教授　阿部　学、助教　宮下　しずか　＞

開催時間：第1回、第3回、第4回、第5回　19：00～20：30　　第2回　13：00～16：00

	開催日	講義項目	講師
第1回	9月10日（木）	血糖モニタリングに必要な知識とスキル	新潟大学医歯学総合病院 小児科 小川　洋平　先生
第2回	10月3日（土）	症例から学ぶ糖尿病治療の薬学的フォローアップ	フローラ薬局 篠原　久仁子　先生 新潟薬科大学　薬学部 教授　朝倉　俊成 新潟薬科大学　薬学部 准教授　阿部　学 新潟薬科大学　薬学部 助教　宮下　しずか
第3回	11月5日（木）	糖尿病患者の治療（食事・運動・薬物療法）、合併症、シックデイとその対応	新潟大学医歯学総合病院 内分泌内科 松林　泰弘　先生
第4回	11月19日（木）	薬物療法フォローアップ時に必要な薬物の知識	新潟薬科大学　薬学部 准教授　阿部　学
第5回	11月26日（木）	インスリン製剤・GLP-1受容体作動薬を適正に使用するためのスキル	新潟薬科大学　薬学部 教授　朝倉　俊成

■ ④がん患者さんの思いを知る・学ぶ （定員20名/全5回）

※最終締切日：~~8月18日（火）~~ ⇒ 9月1日（火）

がん患者さんから、告知、受容、治療、経過、現在について、その時々の思いや苦悩などを知り、医療人として薬剤師として患者さんから学ぶ場とする。更に、日々がん患者さんに接してがん治療や緩和医療の充実に努める薬剤師、医師の思いも学ぶ。

※日程の変更により、初回は10月1日（木）「がん患者さんによる講演（2）～乳がん患者さん～」となります。

＜研修責任者：新潟薬科大学薬学部　教授　若林　広行、副責任者　教授　青木　定夫＞

開催時間：各回共通　19：00～20：30

	開催日	講義項目
第1回	~~9月17日（木）~~ ↓ **10月2日（金）**	がん患者さんによる講演（1）～子宮頸がん患者さん～
第2回	10月1日（木）	がん患者さんによる講演（2）～乳がん患者さん～
第3回	10月8日（木）	がん患者さんによる講演（3）～血液がん患者さん～
第4回	10月15日（木）	がん治療のチーム医療の薬剤師とのフリーディスカッション
第5回	10月22日（木）	緩和医療専門医とのフリーディスカッション

■ ⑤化学療法による副作用の種類と対策 （定員20名/全2回）※最終締切日：9月7日（月）

薬物治療における有効性と安全性を確保することは薬剤師に対する社会からの要望であり、副作用症状やメカニズムの一部を知ることは、早期に対応するためにも重要である。本研修では、添付文書で見られる代表的な副作用における症状やメカニズムについて、実臨床を交えて概説する。

＜研修責任者：新潟薬科大学薬学部　教授　小林　靖奈＞　　開催時間：各回共通　19：00～20：30

	開催日	講義項目	講師
第1回	10月6日（火）	副作用の種類と代表的な症状	新潟薬科大学　薬学部 教授　小林　靖奈
第2回	10月13日（火）	化学療法における副作用と対策	

■ ⑥白血病の分子標的療法 （定員20名/全2回）※最終締切日：9月28日（月）

血液腫瘍の治療は、抗がん剤を用いた化学療法から分子標的薬による治療へとシフトしている。当研修ではそのなかでも進歩の著しい慢性白血病をとりあげ、現状と将来展望を概説する。

＜研修責任者：新潟薬科大学薬学部　教授　青木　定夫、助教　内山　孝由＞　開催時間：各回共通　19：00～20：30

	開催日	講義項目	講師
第1回	10月27日（火）	慢性骨髄性白血病（CML）	新潟薬科大学　薬学部 教授　青木　定夫 新潟薬科大学　薬学部 助教　内山　孝由
第2回	11月10日（火）	慢性リンパ性白血病（CLL）	

■ ⑦統合医療の実践 （定員20名/全4回）※最終締切日：10月12日（月）

西洋医学を中心とする現代医療を補完して一層の治療効果を患者さんが享受するために相補代替医療を統合した医療によって患者さんの治療や未病の改善のために実践されている現状において、医療の現場にいる薬剤師にとって必要な真の統合医療について、その実証例を交えて講義する。

＜研修責任者：新潟薬科大学薬学部　教授　若林　広行＞　　開催時間：各回共通　19：00～20：30

	開催日	講義項目	講師
第1回	11月11日（水）	統合医療概論	東京有明医療大学　教授 新潟薬科大学　客員教授 川嶋　朗　先生
第2回	11月18日（水）	食とサプリメント	
第3回	11月25日（水）	ホメオパシーとホルミシス	
第4回	12月2日（水）	アロマセラピーとフラワーエッセンス	

■ ⑧在宅医療と薬剤師 （定員20名/全2回）※最終締切日：10月12日（月）

本研修では、在宅における患者から得られる情報から病態の重症度を鑑別（トリアージ）し、治療薬の副作用症状を見いだしてその軽減や回避に関する適正な対応ができるようになるために、薬学的判断のための基本的知識を習得する。※保健指導の指摘事項に基づいて概説します。

開　催　中　止

＜研修責任者：新潟薬科大学薬学部　教授　小林　靖奈＞　　開催時間：各回共通　19：00～20：30

	開催日	講義項目	講師
第1回	11月12日（木）	副作用対処の基本	薬局すばる 畠中　岳　先生
第2回	12月3日（木）	病態と症状および薬学的判断に基づく症例解析	

■ 災害薬学(⑨基礎編・⑩実践編)

日本は自然災害による人的被害が他国に比して非常に高いにも関わらず、比較的平穏な中で高度成長期や少子高齢化を迎え、必ずしも災害に強い国作りや教育は行われてこなかった。本研修では、阪神淡路大震災以来繰り返し見直しを迫られてきた災害医療の基本戦略を概説し、災害時の健康維持上の課題や被災者に寄り添った支援のあり方、薬剤師の必要性について考えることを通し、薬学教育や平時の薬剤師業務についても考える時間としたい。

※基礎編のみ、実践編のみの申込も可能ですが、基礎編と実践編をセットで受講されることをお勧めいたします。
※開催日①②のどちらか1回の受講となります。(研修内容は、開催日①②とも同一です)
なお、セットでの受講を希望の場合、基礎編と実践編の開催日①②の組み合わせは自由といたしますので、ご都合に合わせて日程をご選択ください。

★⑨基礎編 (定員20名/全2回)※最終締切日:①8月6日(木)②8月24日(月)

＜研修責任者:新潟薬科大学薬学部　教授　小林　靖奈＞　　開催時間:各回共通　19:00～20:30

	開催日①	開催日②	講義項目	講師
第1回	9月7日(月)	9月23日(水)	災害薬学概論(基礎編1)	新潟薬科大学　薬学部 教授　小林　靖奈
第2回	9月8日(火)	9月24日(木)	災害薬学概論(基礎編2)	

★⑩実践編 (定員20名/全2回)※最終締切日:①10月5日(月)②11月4日(水)

＜研修責任者:新潟薬科大学薬学部　教授　小林　靖奈＞　　開催時間:各回共通　19:00～20:30

	開催日①	開催日②	講義項目	講師
第1回	11月4日(水)	12月1日(火)	災害時に生じる医薬品の諸問題 (実践編1)	新潟大学医学部 災害医療教育センター 和泉　邦彦　先生
第2回	11月24日(火)	12月8日(火)	避難所における薬剤師の対応 (実践編2)	

新潟薬科大学　新津キャンパス会場の研修

＜アクセス＞　JR古津駅から徒歩10分
＜会場住所＞　〒956-8603　新潟市秋葉区東島265番地1　新潟薬科大学新津キャンパス　C207セミナー室

新潟薬科大学　新津キャンパスを会場とした研修は、以下の1研修(褥瘡)となります。

■ ⑪褥瘡 (定員10名/全2回)※最終締切日:9月23日(水)

褥瘡外用剤・医療材料の選択、使い方などについての講義と、臨床実習を行う。

＜研修責任者:新潟薬科大学薬学部　教授　坂爪　重明＞　　開催時間:各回共通　19:00～20:30

	開催日	講義項目	講師
第1回	10月21日(水)	褥瘡薬物療法　基礎編	上越地域医療センター病院 薬剤科長 宮川　哲也　先生
第2回	10月28日(水)	褥瘡薬物療法　実践編	

お問い合わせ先:新潟薬科大学 高度薬剤師教育研究センター事務局　　Tel　0250-25-5400